

# カトリックセンターとは



カトリックセンターをご存知ですか  
カトリックセンターは建学の精神であるカトリック精神、特に本学の設立母体である聖心侍女修道会の精神を伝えるために、様々な活動を行っています。

### 主な活動

- ・ キャンパスミサ
- ・ クリスマスなどの宗教行事に関わるイベント
- ・ キリスト教関連の図書などの貸し出し
- ・ キリスト教講座（希望者）

それ以外にも、ご要望があれば、今後の活動をひろげていきたいと思っておりますので、運営委員までお気軽にお声おかけください。

### 今年度カトリックセンター運営委員

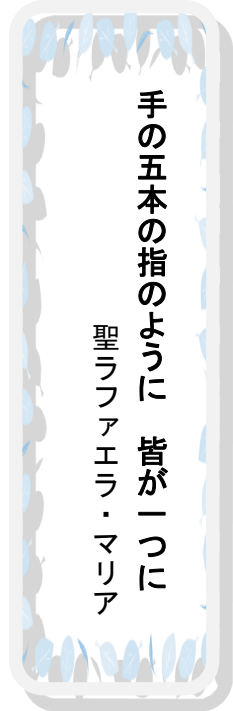
- 稲葉 景（看護学部看護学科・カトリックセンター長）
- 田村 俊輔（人間学部心理コミュニケーションシキョウ学科）
- 田村 亮子（人間学部文化学科）
- 津波古 澄子（看護学部看護学科）
- 山崎 浩（短期大学幼児教育科）
- 神門 しのぶ（短期大学国際コミュニケーション科）
- 中山 昌樹（総務部）
- 関谷 玲子（総務部）

# 清泉カトリックセンター便り

第24号  
2019年5月22日  
編集・発行  
清泉女学院大学・短期大学  
カトリックセンター

### 今月のみことば

一粒の麦は、地に落ちて死ななければ、一粒のままである。だが、死ねば、多くの実を結ぶ。  
〔ヨハネによる福音書十二章三三―三四節〕



### キャンパスミサのご報告とお知らせ 始業ミサ

四月十八日（木）お昼休みに、聖心館御聖堂にて、今年度最初のキャンパスミサを井上武師（レデンブートル会）司式で行いました。聖心侍女修道会のシスターがたや学長、事務局長をはじめとする教職員も参加し、今年度も、学生一人ひとりのために、私たちがよりよい教育をできるようにいりました。

### 創立記念ミサ

五月十八日の創立記念日にもない、五月十六日（木）お昼休みに、聖心館御聖堂にて、創立記念ミサを山口道孝師（カトリック雪ノ下教会）司式で行いました。ミサは聖心侍女修道会創設者である聖ラファエラ・マリアのための特別なミサで行い、改めて、本学の教育の基盤となっている聖心侍女修道会の精神を思い起こし、この精神のもとに「手の五本の指のように、皆が一つに」なって、教育をすることができるようにいりました。教職員、シスターだけではなく、学生も一緒に参加して、小規模ですが、あたたかなミサとなりました。

### これからのミサの予定

- ・ 六月十三日（木）昼休み一二時十五分より聖心館御聖堂にて〔司式〕小高毅師（フランシスコ会・カトリック長野教会）
- ・ 七月四日（木）昼休み一二時十五分より聖心館御聖堂にて〔司式〕柳田敏洋師（イエズス会）

# イースターとは

## ＋ 主の「復活おめでとう」がきます！

みなさんは「イースター」をご存知ですか。

最近ではイースターの時期になると、東京デイズニールランドなどでパレードが行われたり、いろいろなお店で卵やウサギの飾りをしたお菓子が売っていたりするので、イースターということばを耳にしたことのあるかたも多いかもしれません。

「イースター」とは、キリスト教の「復活祭」のことで、イエス・キリストの復活を記念してお祝いする一年に一度のもっとも大きな祭日です。キリスト教に馴染みのうすい日本では意外かもしれませんが、教会にとってはクリスマスよりも重要なお祝いで、世界中で盛大に祝われています。

イースターの主日（日曜日）は春分の日の後の満月の時期によって決まるため毎年移動するのですが、今年（2023年）は四月二日でした（来年は四月十二日となっています）。

ちなみに、英語では「イースター(Easter)」ですが、スペイン語では「パスクア(Pascua)」と言います。

ラファエラ館1階の掲示板前に、イースター・エッグが飾られているのに気が付きましたか？

イースター・エッグは、復活祭から復活節の期間中飾ります。今年の復活節は、6月9日（聖霊降臨）までですので、どうぞご覧ください。



# なぜイースター・エッグなの？

## イースターのシンボルとしての卵

イースターのお菓子は、

イースター・エッグを作った

飾ったり、卵をふんだんに使った

お菓子やイースター・エッグに

似せた卵型のお菓子を作って食べ

たりします。

なぜ卵かという点、諸説ありますが、

イースターはイエスの復活、つまり「新しいのち」を意味しているため、西洋で当時一番身近だった家畜のにわたりの卵からひよこが生まれてくる姿が、ちょうど

新しいのちを意味しているように受け取られたからとか、また、復活祭を待つ期間である四旬節（復活祭前の約四十日間）は、節制や回心につとめて、自分の生きかたを見つめ

なおす期間で、伝統的には肉や卵などぜいたく品を控えて過ごしていたので、復活祭からは我慢していた卵や卵の

お菓子を食べたからとか言われています。

同じように、イースター・バニーというウサギをかたどった飾りやお菓子もありますが、これもウサギが多産なので、

豊穣のシンボルとしていわれています。

それぞれの国で特徴がありますが、一般にイースターの食卓には、やはりそれまで控えていた肉料理や卵料理、

卵をたくさん使ったお菓子を食べるようです。



### 編集後記

はじめまして、今年度カトリックセンター長となりました稲葉です。今年度最初のカトリックセンター便りをお届けいたします。みなさまに、カトリックを身近に感じていただけたら、カトリック教育をさらに理解していただけるように心がけて発行していきたいと思っておりますので、「こういう特集を組んでほしい」などのご要望やご意見、ご感想をお寄せください。これからどうぞよろしくお願いたします。

（稲葉 景 inaba@sfc-nagano.ac.jp）